

SAMPLE | 金額・年齢・家族構成はすべて架空です

加入中の保険 ファイナンシャルプラン表

家計全体の中で、損や見落としを減らすための判断材料を見える形にします。

相談テーマ	加入中の保険 見直し相談	ご家族（架空）	夫 42 歳・妻 40 歳・子ども 2 人（10 歳・7 歳）
実現したいこと	教育費を確保しながら、老後まで家計の余力を残す	現在の金融資産	預貯金 650 万円／投資資産 180 万円

家族とお金の見通し

単位：万円／年（残高のみ万円） ※税金・社会保険料を差し引いた手取り収入で表示

年	年齢 夫・妻	家族の予定	手取り収入	基本生活費	教育・特別支出	相談テーマ費	年間収支	金融資産残高
2026	42・40	現在	720	420	120	58	+122	830
2030	46・44	高校・中学	700	440	190	58	+12	960
2035	51・49	大学・高校	660	460	250	58	-108	760
2040	56・54	教育費終了	620	470	90	58	+2	820
2045	61・59	退職準備	540	450	60	58	-28	760

この表から判断できること

01 加入中の保険料は合計 4.8 万円／月で、年間 57.6 万円です。	02 死亡保障が重複する一方、働けない期間の生活費は不足しています。	03 残す・減らす・やめるを選ぶと、教育費へ回せる額が分かります。
---------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------

数値は見本です。実際のプラン表は、相談者の資料と希望を確認して作成します。将来の収支や運用成果を保証するものではありません。

テーマ別の判断プラン

加入中の保険を、何を残して何を見直すか

家計の見通しと相談資料の数字を重ね、選択肢ごとの影響を比べます。

契約	現在の負担	家計での役割	判断
終身保険	1.6万円／月	葬儀・相続用の死亡保障	必要額まで減らす候補
医療保険	0.9万円／月	入院時の自己負担	公的保障を確認して残す
収入保障保険	1.2万円／月	働けない・死亡時の生活費	子どもの独立まで残す
貯蓄型保険	1.1万円／月	老後資金	解約返戻金を確認して判断

次を取る3つの行動

STEP 1 保険証券を目的別に並べ、保障額と保障期間の重複を確認する。	STEP 2 高額療養費・傷病手当金と、預貯金で賄える額を差し引く。	STEP 3 残す契約と見直す契約を決め、変更前後の年間収支を比べる。
--	--	---

相談後に手元に残るもの

この2ページのファイナンシャルプラン表を原則2営業日以内に送ります。家計全体を見ながら、契約する・続ける・見直す・専門家へ確認するのどれを選ぶか、自分で判断できます。

この見本だけでは 決められないこと	保険金や入院給付金が出るとは、将来の保険料、解約時に戻るお金、税金は断定できません。保険金や入院給付金については契約先へ、個別の税金については税理士へご確認ください。
----------------------	---

運営：スペシャリスト・ドクターズ株式会社（保険代理店）

60分の相談とファイナンシャルプラン表は、相談者の費用負担0円です。運営費は、提携する金融機関から受け取る手数料でまかなっています。

このPDFは表示例です。氏名・契約番号・会社名・金額はすべて架空です。個別の税務・法務判断は、税理士・弁護士・司法書士等へご確認ください。